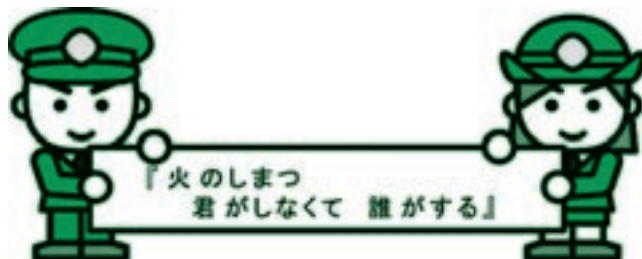


春季全国火災予防運動 3月1日～7日



◆ 火災から守るための大切なポイント

【火を出さない】

火災を未然に防止するためには、安全装置がついた調理器具や暖房器具を使用することが有効です。

【早く知る】

火災を早期に発見するために、寝室や台所に住宅用火災警報器を取り付けておけば、火災をいち早く発見し、就寝中でも音で火災の発生を知ることができま

【火を広げない】

火災の拡大を防止するためには、着火物となるカーテンや寝具類などに燃えにくい「防炎品」を使用することが有効です。

◆ 住宅火災による死者数が増加

住宅火災による死者数は毎年全国で千人を超えており、その約六割が六五歳以上の高齢者です。

出火原因は、「こんろ」が第一位、次いで「たばこ」、「放火」となっています。

春は、火災が発生しやすく、季節風の影響で火災の規模が大きくなりやすい時期です。
日ごろ忘れがちな防火意識を思い起こし、住民・事業所・消防機関が一体となって、火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぎましょう。

防炎品で身の回りの安全対策を！



早期に住宅用火災警報器を設置しましょう



安全暖房器具・安全調理器具を使いましょう



【早く消す】

火災を初期の段階で早く消すために、住宅用消火器やエアゾール式簡易消火器具などを備えましょう。特にエアゾール式（スプレー式）簡易消火器具は、高齢者にも扱いやすく、ちよつとした火災に有効です。

問合せ 消防本部 ☎八七六〇一一九（内線三三三）

～住宅防火 いのちを守る 7つのポイント～

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

